

♪ 木の芽だ 桜だ 丘の上～の園歌より…

丘のうえ

第119号

平成29年5月12日発行
発行・編集／東遠学園組合

URL: <http://toengakuen.jp/>

平成29年5月1日現在

東遠学園在籍者数 児童部 20名、青年部 入所 10名 生活介護 22名
東遠地区生活支援センター登録者数 121名
こども発達センターめばえ通園児 131名 こども発達センターみなみめばえ通園児 83名



《 行事予定 》

- <5月>
 - 18日(火)内科検診(学園)、第3者委員会
 - 20日(土)生活介護開所日
- <6月>
 - 18日(日)めばえ親子運動会
 - 24日(土)みなみめばえ親子運動会
- <7月>
 - 17日(月)生活介護開所日
 - 23日(日)職員採用試験
- <8月>
 - 6日(日)学園同窓会
 - 10日(木)～17日(木)生活介護夏季休暇

(感謝の心)

- 奥宮 貴志夫 様 (現金)
- ミクニ労働組合菊川支部 様 (現金)
- フジオーゼックス株式会社 様 (現金)
- 西方茶農業協同組合 様 (緑茶)
- 地方紙正月連合企画係 様 (絵本、児童書)
- 香妹んず 様 (ボランティア)
- 鈴木 瑞枝 様 (ボランティア)
- 伊谷 園枝 様 (ボランティア)
- 栗下 静江様 (ボランティア)

暖かい善意を

ありがとうございました。

編集後記

4月3日(月)に東遠学園組合で年度初め式、辞令交付式が行われ12名の新たな職員を迎え平成29年度がスタートしました。

学園周辺の桜の木は、例年より遅く4月上旬には、まだ蕾の状態でしたが、その後、天候にも恵まれ一気に開花しました。

桜の花びらが風に舞いチラチラと舞っている光景は美しいものです。

5月、新茶シーズンを迎え学園周辺の茶畑も萌黄色に染まりお茶のほのかな香りが感じられるようです。新年度も利用者1人ひとりに寄り添った支援をしていくよう職員一同取り組んでいきます。今年度もよろしく願いいたします。

[編集委員]

伊藤欽文 山田訓士 芳野友加香 関明子
中山明子 戸塚清花 小河伶央

—苦情解決窓口より—
平成29年2月～4月

苦情、要望、ご意見はありませんでした。

今年も東遠学園前には桜が満開に咲き、新年度を気持ち良く迎える事が出来ました。
この春、新たに地域の中学校や、高等部に進む児童、社会人になる児童もこの桜を背に新たな一歩を踏み出しました！
四月一日には、春の恒例行事、西方ふるさと水源祭に東遠学園の児童と職員が参加をしました。毎年、様々な地域行事に参加をする事は、子どもたちにとって楽しく、かけがえのない思い出になっています。
今後とも数多くの経験を積み重ねて行けるように、様々な行事に参加したいと思っておりますので、地域行事の際は、ぜひお声掛け下さいますよう、宜しくお願いいたします。

東遠学園 児童部・青年部	〒439-0037 菊川市西方 4345-2	TEL:0537-35-2753 FAX:0537-35-2799
東遠地区生活支援センター支援担当	〒439-0037 菊川市西方 4346-16	TEL:0537-37-3995 FAX:0537-37-3996
相談窓口		TEL:0537-35-2971
こども発達センターめばえ	〒436-0016 掛川市板沢 1941-35	TEL:0537-23-2312 FAX:0537-23-0008
みなみめばえ	〒437-1611 御前崎市新野 1877-7	TEL:0537-85-1200 FAX:0537-85-1201

あじがれの自転車通学

「中学になったら自転車通学」一般的には自然なことですが、それを実現するには越えなければいけない事がたくさんあります。

新年度が始まり、児童部の子ども達はそれぞれの新しいスタートを切っていますが、今年度から自転車通学（通勤）を始めた児童が三名います。新年度を迎える前には、自転車の準備から始まり、安全な通学路の検討、乗り方と交通ルールの勉強、通学路を覚えること、一人で不安なく行けるようになるまでの練習と、たくさんの本人の「がんばり」と職員からの支援がありました。

今回はそんな「がんばり」を少し紹介します。

※

くAくん 中一の場合

これまで公道での自転車経験が一切なく、地元中学校までの約四キロを通うことになりました。東遠学

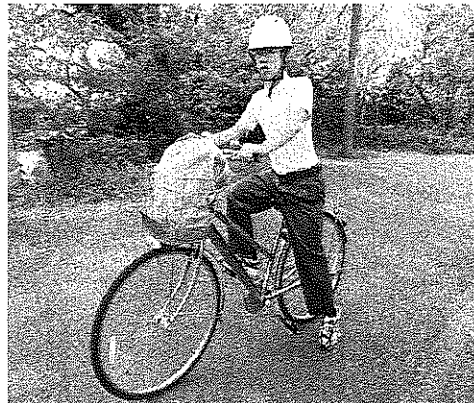


「最初は下り坂が怖かったけど、沢山練習して今は自転車にも慣れてきたよ。車に気を付けて安全運転で毎日学校に通います！」

くBくん 中二の場合

昨年からは自転車通学を行なっていたBくん。四月から念願の自転車通学になり、張り切って毎日学校に通っています。

四月前から学園のグラウンドで新しい自転車に乗って練習したり、学校までの道のりを職員と一緒に確認してきました。そのおかげもあり、毎日通学路も間違えずに学校に通えています。



「四月から自転車通学が始まったけど安全運転で通っています。雨の日も頑張って自転車通学頑張ります！」

くCくん 高二の場合

自転車通学二年目になり、学校までの道のりも慣れてきました。今年度から、児童部の先輩も自転車登校になり、先輩の様子も気にしながら登校してくれています。とても頼りになる先輩で安心していきます。



「自転車通学二年目。これからもスピードを出しすぎないように気を付けて、学校に行きます！」

東遠学園児童部

芳野友加香

有意義な日中活動を めざって 青年部生活介護

平成二十九年度の日中活動は、御前崎分校高等部の卒業生四名が加わり、三十一名で始まりしました。今年度も、「和」「なかやま」「つばさ」の三グループに分かれて活動を行います。

利用者それぞれの姿を踏まえ合理的配慮による人的・物的環境を整え、意思形成・意思表出・意思疎通支援の充実を図り、この時間が豊かになるような活動を提供していきたいと思っています。また、様々な場面で手順書等を活用し、支援者間での共通理解と連携のもと一貫性のある支援が日常的に実施できるよう努め、利用者の個々に合った社会参加・自己実現・自立支援を目

指していきます。

各グループ共、午前は「作業・自主製品作り等」の活動を中心とし、午後は健康増進・体力維持・エネルギーの発散を中心とした活動や余暇を楽しめる活動「歩行・ボーリング・フライングディスク・買い物・おやつ作り・カラオケ・お茶、お華のクラブ活動、季節行事等」を計画的に組み立てます。その他、地区センターの掃除や建物の周りの草取り等、地域に役立つ活動も定期的に続けて行きたいと思っています。

見通しを持って主体的に参加出来るように、午前・午後の活動前に確認を行ったり、また、グループによっては、変化の少ない活動の組み立てをする等、安心して生活できるように配慮していきます。

青年期支援課長 松下典子

豊かな成長を願って… 児童部

平成二十九年度は学齢児十名、高等部を卒業した青年が十名の二十名でのスタートです。十名の青年たちは、青年部の生活介護の方と共に日々の活動を行っています。社会人一年生の四人は「お仕事がらばってます」と誇りをもって通う方、高等部との違いに戸惑い一生懸命自分の居場所を確立しようともがいている方、皆さんが落ち着くまでにはもう少し時間が必要なようです。

学齢児の堀之内小学校の六年生となった児は、登校リールダーとして、朝、七時には学園を出発し、登校になれない一年生とやさしく手をつなぎ、登校しています。

菊川西中学校に入学した児

は少し大きな自転車にまたがり、雨の日も元氣よく登校しています。帰り道最後の学園までの坂を自転車を押しながら登る姿は頼もしく感じます。

掛川特別支援学校に通う小学部、中学部の四名は一つ大きくなった年齢に合わせ、一人で過ごす時間の使い方や、お手伝いをする姿に成長を感じます。高等部に入学した三人は、試験を合格して入学したという思いがそれぞれにあり、まだまだ甘えたい思いを残しつつも、日々の生活に自信がみなぎっているようです。高等部二年生になった児は後輩を迎え大きく成長する一年となることでしょう。とても楽しみです。

今年度も、たくさんの経験ができる場を提供し、子ども達の豊かな成長を応援したいと思っています。

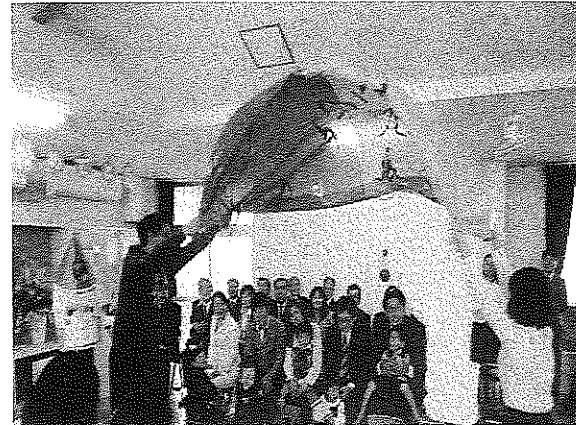
児童発達支援課長 杉原充子

平成29年度 入園おめでとう



こども発達センター めばえ・みなみめばえ

今年度、めばえでは16名、みなみめばえでは14名の新入園児を迎えました。胸にお花をつけ保護者と手をつなぎ、堂々と入場できました。職員による歓迎のバルーンに目を輝かせていました。園で楽しく、元気に毎日を過ごして頂きたいと思っています。また、多くの御来賓の方々に出席頂き、ありがとうございました。



行事についてのお知らせ

今年度も、親子運動会・納涼祭・防災訓練・遠足・祖父母、父親参加日お楽しみ会など多くの行事を行います。地域の方々に支えられながら、活動してまいります。散歩などでお会いした時にはお声を掛けてください。

親子運動会

めばえ：6月18日(日)午前 あいりーな

みなみめばえ：6月24日(土)午前 新野公民館

今年は親子で楽しむ事に重点を置き、6月に開催いたします。



納涼祭

8月4日(金)17:00～

めばえ・みなみめばえ各園庭
盆踊りやゲーム・夜店を行ないます。

お楽しみ会

めばえ：12月9日(土)午前

みなみめばえ12月10日(日)午前

例年2月に行われていましたが、園児の体調に配慮し今年度は12月にいたしました。クラス毎に活動発表をします。

こども発達センターみなみめばえ

第6回を数える入園式には、桜の花が咲き始め、新しい子ども達を待っていたかのようでした。緊張した面持ちの子ども達お月を過ぎたこの頃では、自分の好きな遊びや安心な居場所を見つけ、沢山の笑顔が咲いています。

「みなみめばえ」では毎日の通園児童の受け入れと共に、乳幼児期の発達障害の早期発見・早期療育を目的に、外来療育を行なっています。午前の親子通園、午後の並行通園(地域の保育園・幼稚園からの通園)を通し、家庭や通園施設、行政との連携を図り、児童発達支援や保育所等訪問事業を行っていく中で、発達障害の理解や啓発を行ない地域における支援の向上に努めています。

すべての子どもは、それぞれに良いところ、苦手なところを持った、かけがえのない存在です。「みんなと同じで当たり前」ではなく、誰でも苦手なことはあり、苦手な所は助けてもらい教えてもらう中で、「どうすればできるか」に注目し、適切な行動を身につけるための、工夫した伝えや環境設定を行ない丁寧な療育を目指しています。「笑顔で楽しく 安全な毎日を！」を目標に、子ども達の成長を御家族と共に見守っていきたく思います。

所長 八木智子

こども発達センターめばえ

今年度で25回目となった入園式で、16名の新しいお友達を迎え、全員で41名での平成29年度がスタートしました。

毎日通園では、園庭あそびやお散歩、制作やサーキット運動などの様々な活動を通して、大好きな先生やお友達との楽しい関係を作り、お子さん一人ひとりの成長に繋げていきます。今年も上の写真にあるような、楽しい行事が盛り沢山!!お子さんはもちろん、御家族の皆さんと共にその時々のお思いを共有しながら、毎日の生活をしっかり積み上げていきたいと思っています。

親子通園・並行通園では、お子さんが通う幼稚園・保育園での楽しい生活が送れるよう、グループ毎の視点で小集団での活動を行っていきます。

今年度の活動も、この『丘のうえ』でお知らせしていきます。子ども達がめばえの活動の中で見せてくれる色々な表情をたくさん載せていきたいと思っておりますので、是非見てくださいね!

所長 岡本 あや

組合基本計画と29年度の取り組み

■年度初めにあたって

東遠学園組合では、12名の新入職員を迎え平成29年度がスタートしました。

新年度を迎えるにあたり、全体研修の中で私から職員に次の5項目を常に意識して仕事に取り組むようお願いをしました。

- (1) 報告・連絡・相談(ホウレンソウ)の励行
- (2) P(プラン)・D(ドウ)・C(チェック)・A(アクション)の実行
- (3) 風通しの良い、明るい職場づくり
- (4) 快適な職場環境の構築
- (5) 地域とのつながりを深める

行され、このことが最終的には利用者の皆さまへのより良い支援に繋がっていくものと考えています。

この中で「(5)地域とのつながりを深める」については、これまでも地域住民の皆様とイベントへの参加など、様々な場面、機会をとおして交流を図っていますが、まだ十分とは言えない状況にあります。

地域とのつながりを深めるには一人でも多くの方に障がいであることを理解していただくことが必要と考えます。このことを念頭におき、更なる信頼関係を構築することで、大規模災害発生時における地域との相互協力応援体制を構築することなど、地

域とのつながり、絆を深める一年にしたいと考えています。

■組合基本計画と29年度の取り組み

平成29年度は、組合基本計画第3期実施計画の最終年となり、本年度は平成30年度からの新たな実施計画策定することとなります。

これまで当組合が圏域の中で果たしてきた役割を検証し、今後5年、10年先を見据え、当組合が圏域の中で果たすべき役割を、計画にしっかりと位置付けていきたいと思えます。

また、平成28年度重点課題として構成市町三市一町とともに取り組んだ、こども発達センター「めばえ・みなみめばえ」の待機児問題への対応については、①「東遠地区発達支援システム基本指針の策定」、児童福祉法の改正による在所期間延長廃止規定

が定められたことによる②「20歳を超えた児童部入所児の進路対策」については、入所児の移行支援を行っていくためのシステムの構築など、ふたつの重点課題はいずれも方向性を見出すことができました。

引き続き平成29年度は、「東遠地区発達支援システム基本指針」の中で早急に取り組みなければならぬ事項として挙げられた「めばえ毎日通園の定員拡充」への対応、「児童部入所児の進路対策」においては、移行先、関係市町、家族等との連携を図り計画的に移行を進めていくこと、さらに、地域の課題として将来に渡る移行支援システムの構築に取り組んでまいります。

今後におきましても、皆さまの御理解、御協力をお願いいたします。

東遠学園長 高橋住夫

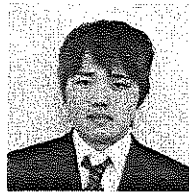
平成二十九年度

新入職員紹介



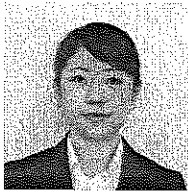
【東遠学園 事務主幹】
伊藤 欽文

こんにちは。菊川市福祉課から来ました。初体験ばかりです。皆さん、教えて下さい！よろしくお願いします。



【青年部】
坂本 和輝

利用者と関わり、利用者にとってより良い支援を考えたいと思います。よろしくお願いします。



【笹本 優衣】

先輩方の利用者との関わり方を学び、笑顔を忘れずに支援をしていきたいと思えます。よろしくお願いします。



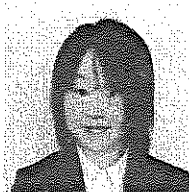
【児童部】
平藤 汐里

子ども達の気持ちに寄り添いながら、より良い支援をしていくように、精一杯頑張りたいと思います。



【松浦 詩織】

日々の関わりを大切に、多くのことを学び、頑張りたいと思います。よろしくお願いします。



【めばえ】
平岩 千里

この春からすてきなご縁で繋がりが、めばえでお世話になる事になりました。子ども達と成長していく事を日々楽しんでいきます。よろしくお願いします。



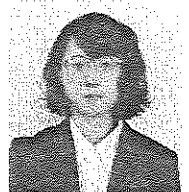
【牧野 結美】

緊張もありますが、子ども達と一緒に「楽しい」を感じていきたいです。よろしくお願いします。



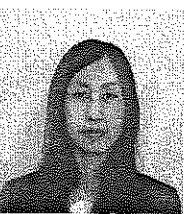
【平野 菜穂】(調理)

おいしい給食を提供できるよう頑張ります。



【みなみめばえ】
大庭 桃子

子ども達と遊んでいく中で、一人一人にあった支援が出来るようにしていきたいと思えます。



【伊藤 麻緒】

袋井特別支援学校から来ました。子ども達の元気な笑顔にパワーを頂きながら頑張っていきたいと思えます。よろしくお願いします。



【溢谷 健太】

子ども達とたくさん遊ぶ中で多くのことを学んでいきたいと思えます。よろしくお願いします。

